

## 7) 植木神社 (うえきじんじや)

住 所：三重県伊賀市平田 6 9 9  
TEL:0595-47-0431

訪問日：2013年4月16日、2014年1月28日

主祭神：健速須佐之男命

祭 神：櫛名田毘賣命、鳥鳴海神命、事代主神命、火之迦具土神命、品陀和氣尊命、菅原道真命、大山祇命、猿田毘古神命、彌都波能賣神命、正哉吾勝々速日天之忍穗命、天之穗日命、天津日子根命、活津日子根命、熊野久須毘命、多紀理毘賣命、多岐津毘賣命、武甕槌命、市杵島姫命、少彦名命、宇迦之御魂命、上筒之男命、中筒之男命、底筒之男命、大日靈貴命、鹿島御子三十八神、大物主命、香香脊男命、五十猛神命、大稻輿命、大友皇子命、志那都毘古命、志那都毘賣命、安閑天皇、山田惟之命



鳥居と手水舎



境内と拝殿



本殿

短い朱色の欄干の左側に「植木神社」の石柱、右には松尾芭蕉の句碑（枯芝ややゝかげろふの一二寸）と「植木神社祇園祭」の石柱と石碑があり、下記の由来が記されている。

三重県無形民俗文化財 植木神社祇園祭  
昭和五十四年三月二十三日指定

文永年間この地に宮柱太敷建て奉斎し、植木牛頭天王と称した。四季の祭礼は盛大に執り行われ、中でも祇園会は、六月七日から十四日まで真泥の差出の宮を二の宮と定め、大竹に白幣を神璽として渡御し、猿楽、田楽等終日歌舞を相勤め、十四日午刻還御し本祭を執行した。慶長二年に一棟三扉の本殿を新築し、平田郷十ヶ村の惣社として崇敬され、祇園会例祭には、二柄の御輿に平田町の山車三台、中島の献花や花太鼓等が供奉し八王子宮へ渡御される。現在は七月の最終土曜日を宵宮、翌日曜日を本祭と定め、祇園囃子も賑やかに絢爛豪華に執り行われている。明治二年布告に依り植木神社と改称。明治七年五月郷社に列せられた。

中山鳥居の右側に手水舎があり、なだらかな階段の参道を歩くと境内の正面には右側に左前足で玉を押さえた阿形の狛犬と左側には子狛を右手で押さえた吽形の狛犬が置かれ、入母屋造りの拝殿がある。拝殿の中には社号を記した額があり、その右側には健速須佐之男命をはじめ16柱また左側には19柱の祭神が記されている。その奥には朱色で彩られた流造の本殿がある。境内には神楽庫や神饌所もあり、樹齢300年のシイや400年のケヤキ、450年のサワラ、250年のカヤ、200年のギンナンなどの大木およびユズリハ、シュロ、ヤブニッケイ、ヤブツバキ、チャノキなどがみられる。

祭祀は例祭 5月8日、その他年中恒例祭18回、県指定無形民俗文化財である祇園祭 7月最終土、日曜日、宝物として棟札279枚がある。